

疾病発生状況

知名真智子（旧姓金田）・杵山恵子

1．目的

平成 16 年 9 月から平成 17 年 8 月の間に発生した疾病，および，種苗配布前に行ったイリドウイルス病診断の結果について報告する。

2．材料と方法

1) 種苗生産時の疾病

種苗生産水槽で，ふらつき魚が出たり，大量斃死が起きたときなどに，斃死魚やふらつき魚，生きた個体の外部および内部観察を行い，疾病発生の有無を確認した。当センターで斃死原因がわからないときには，沖縄県水産試験場に診断を依頼した。

2) 配布種苗のイリドウイルス病診断

イリドウイルス病診断は，種苗配布の 1 週間から 1 ヶ月前に，配布するすべての魚種で行った。種苗生産を行っている水槽ごとに，それぞれ約 15 ～ 40 個体を検体として採取した。一晩の餌止めの後，検体から脾臓を採取して，nested-PCR による検査¹⁾を行った。

3．結果

1) 種苗生産時の疾病

平成 16 年 9 月から平成 17 年 8 月までに発生した疾病は表 1 のとおりであった。

5 月 17 日にスギ種苗生産水槽 (S-3) で，エピテリオシスチス類症 (以下，エボ類症) が確認された。これをはじめとして，平成 17 年度の種苗生産では，エボ類症による種苗生産の途中廃棄が相次いだ。紫外線殺菌ろ過海水の注水ができなかったことが，エボ類症発症の主な原因と考えられた。これまで，種苗生産初期には，紫外線殺菌海水を使用していたが，平成 17 年度は，種苗生産を行う魚種の増加，飼育魚数の増加などから，紫外線殺菌装置が不足したため，すべての種苗生産水槽に紫外線殺菌ろ過海水を供給することができなかった。

2) 配布種苗のイリドウイルス病診断

マダイ 1 回，スギ 10 回，ハマフエフキ 4 回，チャイロマルハタ 1 回の診断を行ったが，すべてにおいて陰性であった (表 2)。

表 1: 疾病発生状況

疾病確認日	疾病名	魚種	日令	水槽名
2005年1月中旬	滑走細菌症	マダイ		F池
2005/5/17	エボ類症	スギ	26	S-3
2005/5/27	"	マルコバン		50-3
2005/5/28	"	ハマフエフキ	21	50-4
2005/6/18	"	"	46	50-5
2005/6/22	"	スギ	18	S-2
2005/6/23	"	"	19	S-1
"	"	"	17	C-2
"	"	"	17	C-4
"	"	"	15	S-4
2005/6/29	"	"	15	C-6
2005/6/30	"	"	16	S-3
2005/7/3	"	"	10	C-3
"	"	"	9	C-5
2005/7/26	"	"	17	C-2
2005/8/5	"	"	15	S-2
"	"	"	13	50-5
2005/8/24	"	"	22	C-2

4．文献

- 1) 養殖研究所．イリドウイルス病 PCR 診断法について．(研修テキスト)

表2．平成17年度 種苗イリドウイルス検査

検査日	魚種	検体数	平均	検体全長		検査結果
				最大	最小	
2005/4/11	スギ	21	87.70	112.41	67.59	-
2005/4/11	スギ	17	85.28	116.47	65.51	-
2005/5/9	スギ	21	95.79	125.58	64.71	-
2005/5/25	スギ	20	94.42	111.08	81.44	-
2005/8/12	スギ	25	85.40	106.4	67.39	-
2005/8/12	スギ	25	87.80	106.47	72.88	-
2005/8/12	スギ	20	76.17	98.66	58.86	-
2005/8/23	スギ	13	75.97	78.19	56.46	-
2005/8/23	スギ	12	76.38	76.58	55.87	-
2005/8/23	スギ	21	76.80	76.5	56.49	-
2005/8/29	ハマフエフキ	30	17.49	24.36	11.76	-
2005/8/29	ハマフエフキ	30	17.37	23.67	12.2	-
2005/8/29	ハマフエフキ	30	17.08	22.33	12.56	-
2005/8/29	ハマフエフキ	30	17.10	24.12	18.15	-
2005/12/15	チャイロマルハタ	16	62.68	75.09	48.43	-
2006/2/7	マダイ	83	25.37	31.45	21.33	-